



小堀未希さんが「キラリ! 放送大学」に!!

放送大学は通信制の大学ですので、テレビBSでの放送枠を持っています。その中で、「大学の窓」という広報番組があり、放送大学の活動だけでなく、在学生や卒業生の活動を紹介しています。

「大学の窓」の中に、放送大学を卒業して社会で活躍している人を紹介する「キラリ! 放送大学」という番組があります。この番組は、BSで放送した後も、放送大学のホームページの動画で見ることができます。昨年からはまったように、これまで4人の卒業生が紹介されていました。

今回、5人目として、沢田内科医院の小堀未希さんが選ばれました。小堀さんは看護専門学校から放送大学に編入学して2年半後に卒業しました。その後、糖尿病をテーマとして提出した論文が認められ、大学評価・学位授与機構から看護学士を授与されました。現在は、母校である看護専門学校で非常勤講師として学生の講義を担当しています。1コマ90分の講義を、准看護学科で12回、看護学科で10回、年間合計22回行っています。

放送大学を卒業しただけでなく、看護学士を授与され、開業医に勤務しながら看護学校で非常勤講師をしている看護師はほとんどいないようです。そこで、放送大学から提案があり、「キラリ! 放送大学

」という番組で全国に向けて放送することになりました。また、小堀さんの活躍だけでなく、昨年からはまった弘前市医師会看護専門学校と放送大学の連携によるダブルスクールの状況も放送されます。



番組制作のため、5月2日に打ち合わせが行われました。大体の流れが説明され、当日は学位記やアルバムなど私的なものも準備することになりました。5月13日午後は看護専門学校でいろいろな場면을撮影しました。特に、午後2時40分から4時10分までは、准看護学科での小堀さんの講義風景が撮影されました。ダブルスクールに在学する2人の学生がインタビューを受けました。その後、日中は准看護師として仕事をし、夜間に勉強する看護学科学生の登校の様子と講義風景が撮影されました。

当日の講義内容は、小堀さんが得意とする糖尿病にして臨みました。実は、このクラスは2回目の講義でしたが、1週間前に「アダルト女子会」と称する社会人入学の学生たち7人と会食する機会があり、これに小堀さんも参加して懇親を深めていたもので、講義はスムーズに進んだようです。



放送大学関係者との会食

14日は、沢田内科医院での撮影でした。小堀さんの外来での仕事を撮影し、ついでに私の診療風景も撮影しました。その後、小堀さんは約1時間のインタビューを受けました。子どもの頃から現在までを物語風に構成するらしく、小中学校時代のアルバムや写真、学位記などを撮影していました。診療が終わった午後1時から私もインタビューを受けました。

かなり長時間の撮影でしたが、番組はたった15分です。基本的に小堀未希さんの活躍を主題にした番組のようですが、どのような内容になるのか楽しみです。

平成27年4月、弘前市医師会看護専門学校は放送大学と連携して、看護専門学校を卒業すると同時に放送大学も卒業するというダブルスクール制度を導入しました。沢田内科医院で働く看護学科1年生の今夕葵さんと2年生の木村友美さんは、ダブルスクールの学生です。木村友美さんは、番組のためにインタビューを受けました。インタビュー前にちょっと会いに行ったのですが、かなり緊張していました。インタビュー後にどんなことを聞かれたか聞いてみましたが、「頭が真っ白で何も残ってません！」とのことでした。

西谷鮎子さんは、昨年、糖尿病療養指導士に認定され糖尿病患者さんの指導に当たっています。同時に超音波検査のトレーニングも続けています。2児のお母さんですが、10月から放送大学に編入学して勉強したいと話がありました。西谷さんは短大で保育科を卒業していますので、放送大学には短大卒としても編入できるのですが、今は看護師ですので、看護専門学校卒業で編入学することにしました。こう

すると、将来、看護学士の取得も可能になり、さまざまな可能性につながるからです。

5月13日、看護専門学校の取材を終えた夜に、放送大学のスタッフ3人と会食をしました。わざわざ千葉からいらして下さいましたのでその歓迎と、翌日のインタビューがスムーズに行くようにするためです。私と小堀さん、看護専門学校の工藤文子先生、放送大学青森学習センターの西澤勝則さんの合計7人です。話が盛り上がり、遅くなりましたが、翌日は打ち解けた状態となり、撮影もインタビューもスムーズに進みました。

私たちがやってきたことが、このような形で注目されることは嬉しいことです。また、弘前市看護専門学校をもっと知ってもらって、優秀な学生が集まることも期待しています。なお、6月10日から約1週間に4日間放送されるとのことです。その後、放送大学のホームページで見ることができるようです。

事務室と診察室の改装

4月に事務室と診察室を改装しました。カルテの電子化を試みたのですが、自分が納得できるシステムがなく、しばらくは紙のカルテで仕事することにしました。外来カルテが棚からあふれてきたこと、パソコンのディスプレイがもう一つ必要になったこと、事務スペースが狭くなりもっと効率的に使う必要が出てきたことなどから改装することにしました。

新築と違い改装は何かを犠牲にすることが多いのですが、今回は窓を犠牲にしました。カルテ棚を窓にくっつけることでスペースを確保できました。電話と事務用のパソコンの数を増やして机を真ん中に集めることで煩雑だった事務室がすっきりしました。これで今まで以上に効率的に仕事ができそうです。

私の診察スペースも改装しました。カルテを電子化しないことに決めたのですが、診察をもっとスムーズにするシステムを考えていました。最近

は、特定健診やがん検診が多くなり、書類を作るための時間が非常に多くなっています。これを自分がやっていたのでは、いくら時間があっても足りません。そこで、カルテを書くことや書類の処理はできるだけ自分ではやらず、本来の診察に集中するシステムにしました。



事務室



診察机

私の隣に看護師がいて、事務的な仕事することにしました。しばらくの間は井上真利子婦長がその役割を果たします。私はその分、診察に集中できます。診察が終わって患者さんが診察室を出てからも、薬の処方や検査の予約手続きなど、事務的な仕事はかなりあります。この事務的な仕事の時間が短くなりますので、すぐに次の患者さんの診察を行うことができます。これで患者さんの待ち時間をかなり短くすることができます。

改装を決めたのには、もう一つ理由があります。今年から、医師会や本来の仕事以外

の活動がますます増えそうです。日中に医院を留守にすることが多くなりますので、代わりに診療してくれる医師をお願いすることがあります。その場合に、このシステムにすると、何とかなると思っているからです。

事務的な仕事の時間は短くなりますが、患者さんと向き合う時間は同じですので、むしろ待ち時間

が短くなり、医療サービスの質は良くなると思っています。外野席からは、「その分、患者さんと雑談する時間が長くなるんじゃないんですか・・・」という声も聞こえてきますが。ただ、カルテを見ている時間が短くなりますので、大事なところを見落とさないように気をつけたいと思っています

看護学科 1年生の今夕葵さん

春は異動の季節です。今年は、旅立つ人はなく、新しい職員が一人加わりました。4月から弘前市医師会看護専門学校1年生になった今夕葵（こんゆうき）さんです。よろしくお願いします。

夕葵さんは、弘前市医師会看護専門学校准看護学科を卒業して、3月に准看護師になりました。4月に看護学科に進学した棟方孝奈さんとは高校の同期の友だちです。将来、助産師になりたいという夕葵さんの将来について相談を受けたのですが、それを実現するには、沢田内科医院で働いた方が可能性が高いということになり、来ることになったのです。



棟方孝奈さんと今夕葵さん

看護専門学校では、昨年からダブルスクールコースを設けています。これは看護専門学校を卒業する時点で放送大学も卒業するという制度です。夕葵さんはダブルスクールにも登録しています。

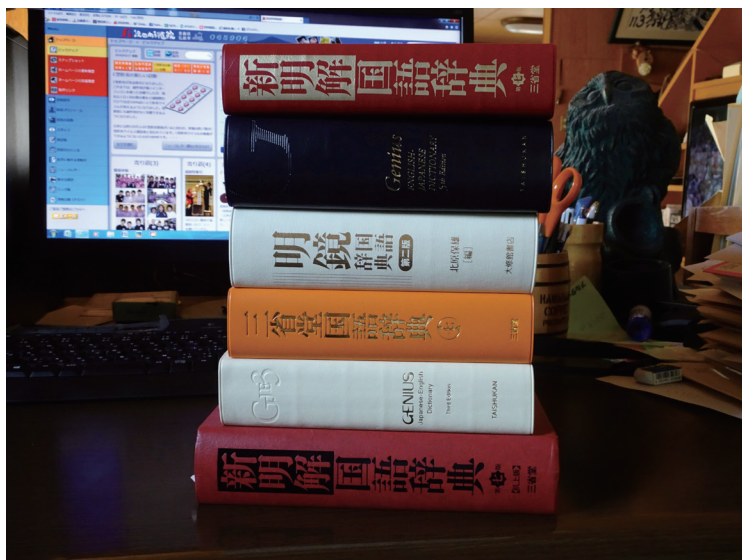
3月に准看護師になったばかりで、先輩の看護師の指導を受けながら点滴などを行っています。まだ来たばかりなので、猫かぶりをしているのかも知れませんが、落ち着いて大人しい人のようです。これが本当なのかどうかを判断する

にはまだ時間が足りないようです。

私が使っている国語辞典

私を含めて漢字を書けなくなっている人が多いと思います。私は職員がカルテを書く時に、間違った漢字を使っているとすぐに指摘します。自分自身が漢字に関して怪しくなっていますので、新しい勉強の方法として、漢字検定4級の本を使って、職員に漢字練習をしてもらうことにしました。井上婦長がペースメーカーとなり、私が指定した2人と希望する職員数名がやっています。

私は辞典を引くことが多い方だと思います。そこで、現在使っている国語辞典を紹介します。私が使っているのは次の3つの辞典で、それぞれの特徴があります。もっとも頻繁に使っているのは、「新明解国語辞典」です。視力が悪くなってきましたので、大きめの辞書を買ったのですが、手に取った時



と実際に引く時の感触がしっくりしないので、やはり通常の大きさのものを使ってしまいます。

三省堂国語辞典 (第七版)

新聞やネットで使われている実例を集め、カタカナ語から生活のことばまで新語がたくさん収録されています。最新の第七版では、「スマホ」や「ゆるキャラ」、「ゲリラ豪雨」などが新たに掲載されています。「いらっと」は「新明解」にはありません。「がち(で)」、「心が折れる」、「ブラック企業」などは他の辞書には載っていません。「半端ない」の解説には「1990年代に例があり、21世紀に広まったことば」と、20年以上も使われているということが書かれています。しかし、「明鏡」では「一般には避けたい」と書いています。「新明解」には項目がありません。こうした現代語を拾い集めているのが、この辞典の最大の特徴です。つまりこの辞典は、最近になって使われ始めた新しい言葉の意味を知りたい人に適しています。

明鏡国語辞典 (第二版)

この辞典の特徴は「日本語の使い方」を解説していることです。日本語の使い方と誤用に相当のページを割いています。例えば、「正式の会員」「正式な会員」のどちらが正しいのか？どちらとも正しいのであれば、どう使い分けるのか？など、「の」と「な」の用法を詳しく解説しています。また、誤用と敬語がわかる別冊「明鏡 問題なことば索引」は、

読んでいて面白い内容です。私自身は、普段、この辞典を使うことは少ない。

新明解国語辞典 (第七版)

「新明解」の最大の魅力は、あまりにも人間的な解説です。通常言葉の定義よりも、その言葉が実社会の中でどのようなニュアンスを伴って使われているのか、ということに関しては、この「新明解」が抜きん出ています。例えば、「実社会」の語釈として、「実際の社会。美化・様式化されたものとは違って複雑で、虚偽と欺瞞とが充満し、毎日が試練の連続であると言える、きびしい社会を指す」と解説しています。このような解説が至るところにたくさん載っています。前にもニュースレターで紹介したことがあります。しかし、「恋愛」などといった言葉がどのように定義されているのかを確認するだけでもすごく楽しめます。「新明解」が「読む辞典」として登場したのは、25年ほど前の第四版です。この第四版については「新解さんの謎」という本が出ましたが、解説が最も面白いのがこの第四版です。以後、「新明解」に興味を持った私は、第四版から第七版まですべて持っています。ある意味で、言葉をじっくりと味わいたい人にとっては最適の辞典です。

医院でのこぼれ話

『顔にはシワはないけど、名前にはシワが・・・』

外来での齋藤シワさん(79歳、女性、苗字だけ仮名)とのやり取りでのことです。

どこから嫁にきたのかという話から、若い頃の話になり、どういうわけか、年の割りにはシミもなく色白の齋藤さんの顔の話になりました。

血圧の薬をずっと飲んでいる齋藤さんですが、

齋藤さん : 「先生が薬の中に何か肌が白くなるもの入れてくれてるんじゃないの？」

私 : 「何も入れてないよ……」

そこに突然井上真利子婦長が割り込んできて、

井上婦長 : 「顔のシワもなくてきれいなこと！」

これに対して、

齋藤さん : 「名前にはシワがあるけど、顔にはシワがない……」

これには、みんなで大笑いでした！！

